

## 夢の実現プロジェクト

児童 第5学年15名 第6学年20名 計35名

授業者 岡 真知子, 酒井 晋平

場所 ラーニングルーム

### 1 単元設定の理由

#### 【単元の見聞】

- 「地域の人と協力して全員が心の底から笑顔になれる福富町をつくる」を目標に、地域の人に話を聞いたり関わったりすることを通して、地域の人々の福富町への思いを理解し、目標達成のために自分たちにできることを考え実践するとともに、課題解決に向けて異学年で協働的に取り組む態度を身に付ける。

#### 【児童の実態】

- 総合的な学習の時間に関するアンケートを見ると、「福富町のためにできることがしたい」「福富町のことを学びたい」と感じている児童の割合は高く、福富町を思う気持ちや、取組への意欲が高いことが分かる。一方、「他者の意見と自分の意見を比較し、自らの意見の課題やよさに気づく」という項目は、他項目と比較すると肯定的評価は低い。何かを実行するとき、自分の思いだけでなく、様々な視点から考えた上で判断をすることが重要である。自分たちの思いだけでなく、地域や保護者等から得た情報を大切に、何をどのように取組に生かすか考えながら学習を進める力を高める必要がある。

#### 【単元観】

- 本単元は、アクアフエスタ（地域の祭り）等を生かして町の人を笑顔にする取組を考えることを通して、情報を整理・分析する力、主体的・協働的に学ぶ力を養うことをねらいとしている。提案側として祭りに参加し、運営側の思いを知ること、より地域への関心を深めることができると考える。また、アクアフエスタ実行委員に自ら提案する等、「地域の人と共につくる」という思いをもって学習を進めることで、地域の人々の願いを感じたり、地域の魅力を再発見したりすることもできるであろうと考える。アクアフエスタ後も、自分たちにできることを地域と共に取り組むことで、地域の一員としてより町づくりにかかわっていきたいという思いを育むことができ、社会参画の力にもつなげることができる単元である。

#### 【指導にあたって】

- 他者の視点を生かす

アクアフエスタやその後の活動において何ができるかを考える際に、他者の思いや願いに着目させる。アクアフエスタに参加した人々に楽しかったことや感じたことについてアンケートをしたり、保護者やアクアフエスタ実行委員に福富町に対する思いや願いを聞いたりすることで、様々な年代、立場の方の感じ方や思いに触れさせたい。児童自らの思いだけでなく、他者の視点も生かしながら、「全員が笑顔になれる町づくり」という目標を達成するにはどういった活動が効果的であるのかを考えさせていきたい。

- 経験や取組を生かし、つなげる

前年度の取組での成果や課題を生かしながら、今年度の展開や活動内容を考えさせる。アクアフエスタを軸にすることで、6年生は前年度の経験や学びを一つの根拠として探究を進めることができる。「アクアフエスタに参加する」という前年度と同じ活動であっても、違う立場に関わることで学びを深めさせていきたい。また、5年生は6年生が学びをつなげながら取組を進める姿を見ることで、目標とする姿が分かり、次年度に生かすことができると考える。異学年のつながりを通して、経験や学びを生かす力を高めていきたい。

## 2 単元構想ストーリー

5 年 生	6 年 生	地域との連携 体験活動・資料	児童の意識 の流れ
	○昨年度の課題や今年度どうしていきたいかを考え、5年生に伝えるための準備をする。		○昨年度は「笑顔あふれる福富町」を目指したけれど、顔が笑っているだけが「笑顔あふれる」ではないと思った。今年は、町のたくさんの人に心の底から笑顔になってほしい。
○昨年度の課題や6年生の思いを5年生が聞き、「地域と協力して心の底から笑顔があふれる福富町」を目指すためにできることを考える。その際、「心の底から笑顔」のイメージを明確にし、全体で共有することで、同じ目標に向かって活動に取り組めるようにする。「自分たちがよりよい町づくりに貢献する」という視点を持ち、できることを考え、計画を立てる。		<資料> ・6年生が作成したスライド  <地域との連携> ・保護者にアンケートを実施  <地域との連携, 体験活動> ・アクアフエスタに関わる人々 ・アクアフエスタで行いたい活動に関わる人々	○町の人たちを心の底から笑顔にするために、自分たちにはどんなことができるだろうか。
○目標を達成するためにアクアフエスタでどのような活動をするか、各グループで計画を立てる。			○本当にこの計画で町の人々は心の底から笑顔になるのかな。この案は、実際にアクアフエスタでできるのかな。聞いてみたい。
○考えた案をプレゼンし、互いにアドバイスを送り合ったり、アクアフエスタに関わる地域の方からアドバイスをいただいたりしながら、案を改善していく。			○今年は去年以上に笑顔になってもらえたらいいな。
○改善した案をもとに、アクアフエスタ等で実行する。		<地域や他地域との連携> ・来場者、実行委員会、運営側にアンケートを実施	○アクアフエスタでは来た人を笑顔にできたから、福富町に住むもっとたくさんの人を笑顔にさせたい。
○振り返りを生かし、目標を達成するために今後どのような活動をしたか考える。 <b>本 時</b>			○これからも地域の人と一緒にみんなが笑顔になれる福富町をつくっていききたい。
○グループに分かれ、今後の計画を考えたり、内容について考えたりする。			○この学習を通して、これからの役立ついろいろな力を伸ばすことができた。
○考えた案をプレゼンし、互いにアドバイスを送り合いながら案を改善していく。		<地域との連携> ・保護者や地域の方にアンケートを実施	○来年度の5年生に、今年度できたことやできなかったことを伝えていきたい。来年度は上級生として頑張りたい。
○探究発表会において発表や実践をする。探究的な学習の結果や地域の方の思いや願い等を整理し、今年度の学習を基に、来年度のよりよい方向性へ向けてまとめをする。			
○1年間の学習を通して身についた資質・能力についてまとめる。			
○今年度の成果や課題、6年生からの思いを引き継ぎ、次年度の5年生へ伝える準備をする。			

### めざす児童・生徒像

「地域と協力して笑顔があふれる福富町を作りたい」という思いを持ち、自分たちにできる活動を考え、実行することを通して、この町に住む人々の思いや願いに気づき、町をよりよくしていきたいという意識を高めるとともに、自他を大切に、目標をもちながら学習に取り組むことのできる児童

### 3 単元の評価観点・評価規準

評価の観点		評価規準	
		A	B
知識・技能	① 知識	○地域で開かれる祭りやイベントの歴史や特徴等について知るとともに、 <u>関わる町の人々の思いや願いについて理解している。</u>	○地域で開かれる祭りやイベントの歴史や特徴等を知っている。
	② 技能	○課題解決のために適切な方法を使って調べたり情報をまとめたりするなど、 <u>目的意識をもって活動を進めることができる。</u>	○課題解決のために適切な方法を使って調べたり、情報をまとめたりしながら活動を進めることができる。
	③ 探究的な学習のよさの理解	○活動を通して身に付いた資質・能力は、笑顔あふれる福富町をつくるために、 <u>実現が可能となるよう探究的に活動してきたことの成果であると気付いている。</u>	○活動を通して身に付いた資質・能力は、笑顔あふれる福富町をつくろうと活動した成果であると気付いている。
思考・判断・表現	① 課題の設定	○目標を実現するために何ができるか考え、 <u>さまざまな視点をもちながら解決に向けて課題を設定することができる。</u>	○目標を実現するために何ができるか考え、解決に向けて課題を設定することができる。
	② 情報の収集	○設定した課題の解決方法について、地域の人や現地の様子を調査するだけでなく、 <u>他地域と比較し、情報収集することができる。</u>	○設定した課題の解決方法について、地域の人や現地の様子を調査し、情報収集することができる。
	③ 整理・分析	○収集した情報をもとに <u>視点を絞って</u> 、課題の解決方法を整理し、分析することができる。	○収集した情報をもとに、課題の解決方法を整理し、分析することができる。
	④ まとめ・表現	○アクアフェスタや探究発表会において <u>見る人が分かりやすいように工夫して</u> まとめ、伝えることができる。	○アクアフェスタや探究発表会において、まとめたことを伝えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	① 自己理解・他者理解	○他者との意見交流の際、他者の意見を受け入れ、 <u>自分の意見と他者の意見のよさを生かそうとしている。</u>	○他者との意見交流の際、他者の意見を受け入れようとしている。
	② 主体性	○課題解決に向けて、見通しをもち、自分で目標を立てながら <u>さまざまな視点で</u> 学習に取り組もうとしている。	○課題解決に向けて、見通しをもち、自分で目標を立てながら学習に取り組もうとしている。
	③ 協働性	○他者の意見と自分の意見を比較しながらよりよい考えを選択し、 <u>自他のよさを生かしながら</u> 課題解決に取り組もうとしている。	○他者の意見と自分の意見を比較し、よりよい考えを選択しながら課題解決に取り組もうとしている。
	④ 将来展望・社会参画	○地域の課題の解決に自分事として取り組み、地域や自分の未来を <u>よりよいものにしたいと</u> 考えることができる。	○地域の課題の解決に自分事として取り組み、地域や自分の未来について考えることができる。

#### 4 単元計画（全70時間）

小単元 (時数)	小単元の目標と主な学習内容 ◎ねらい ○学習内容	評価の観点	教科・特別活動 等との関連
※6年生のみ 1 (2時間) 課題設定の準備	◎昨年度の成果と課題から、今年度の総合的な学習の時間の目標を考えよう。 ○昨年度の学習について、成果や課題を振り返る。 ○自分たちが本当にしたいこと、目標とすることを考え、5年生に伝える準備をする。		
2 導入・課題設定 (8時間)	◎地域と協力して、心の底から笑顔あふれる町を作るために、自分たちにできることを考えよう。 ○6年生のプレゼンから昨年度の活動内容、成果や課題について知り、今年の活動について見通しをもつ。 ○「心の底から笑顔があふれる」というイメージを共有する。 ○アクアフエスタ実行委員から思いや願いを聞く。保護者へアンケートを募る。 ○自分たちにできることを様々な視点から考える。 ○目的を達成するための方法を選ぶ。	知①  思①	<6年社会> 憲法と私たちの暮らし <5年国語> 知りたいことを聞き出そう
3 展開① まとめ・表現(24時間) 情報の収集、整理・分析	◎福富町最大の祭りアクアフエスタで、来場者を心の底から笑顔にできる取組を考え、実行しよう。 ○アクアフエスタでどんな活動ができるかを考え、グループに分かれる。 ○アクアフエスタのことやそれに関わる人々の思いについて調べ、情報の取捨選択や整理・分析をしながら調べ学習を進める。必要に応じて地域調査を計画・実行する。他地域の祭りや活動を調べ、自分たちの活動に取り入れる。 ○企画書を他グループにプレゼンし、アドバイスを送り合いながら案を改善する。 ○アクアフエスタ実行委員や地域の方に自分たちの取組についてプレゼンし、改善する。 ○改善した案をもとに、アクアフエスタに参加する。	主②  知② 思②  主③ 主①	<6年道徳> 「白神山地」 C-19 自然愛護 <6年外国語> We live on the earth. <5年国語> 問題を解決するために話し合おう

<p>5 展開③ 情報の収集・整理・分析・まとめ・表現 (24時間)</p>	<p>◎アクアフエスタでの経験を振り返り、福富町に住む皆さんの人を笑顔にする取組を考え、実行しよう。</p> <p>○アクアフエスタでの経験やアンケートをもとにアクアフエスタの振り返りをし、成果と改善点を明確にする。</p> <p><b>○目標達成のために、福富町に住む人々を心の底から笑顔にするための活動を考える。(本時)</b></p> <p>○計画を実行するために必要な準備を行う。</p> <p>○他のグループからのアドバイスや他市町の方の意見を聞き、改善案を図る。</p> <p>○探究発表会において、保護者と実際に活動を行ったり、来年度を見据えたプレゼンをしたりする。</p>	<p>思③</p> <p><b>主③</b></p> <p>思④</p>	<p>&lt;6年社会&gt; 地球規模の課題の解決と国際協力 &lt;6年図工&gt; 学校へようこそ &lt;6年家庭科&gt; あなたは家庭や地域の宝物 &lt;5年道徳&gt; ベーターベン A(1) 希望と勇気、努力と強い意志 &lt;5年図工&gt; あったらいい町 どんな町</p>
<p>6 振り返り (10時間) まとめ・表現</p>	<p>◎地域と協力して、心の底からの笑顔があふれる福富町をつくるような活動をするのができたか振り返ろう。</p> <p>○アクアフエスタでの経験や、探究発表会での意見、他グループからの感想や実施したアンケートをもとに自分たちの活動を振り返る。</p> <p>○これまでの取組を振り返り、次年度に向けて成果と課題をまとめる。</p> <p>○自己の生き方との関連を図る。</p>	<p>知③</p> <p>主④</p>	<p>&lt;6年国語&gt; 町の幸福論 &lt;5年道徳&gt; 親から子へ、そして孫へと C(17) 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度</p>
<p>7 次年度へ (2時間) ※5年生のみ</p>	<p>◎次年度の5年生へ今年度の学習の成果や課題を伝えるために、まとめよう。</p> <p>○今年度の取組内容、成果や課題についてまとめ、次年度へつなげる準備を行う。</p>		

## 5 本時の目標

アクアフェスタの振り返りやテーマの見直しをもとに、目標を達成するために自分たちにできることを考え、グループで比較・検討をしながら、よりよい案を選択することができる。

## 6 本時のルーブリック

A	B
<p>☆他者の意見と自分の意見を比較しながらよりよい考えを選択し、自他のよさを生かしながら課題解決に取り組もうとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>△△と〇〇だと△△のほうがより多くの人を笑顔にできそうだけど、〇〇を取り入れてみることはできないか。</li> <li>地域の〇〇活動をよりよくしていくために△△の企画をコラボしてやっていけないか。</li> <li>遊・ふくとみのPVには、地域の自然を入れていけばよいと思っていたけれど、みんなの歌っている姿をいれると、もっとよいものになると思った。</li> </ul>	<p>☆他者の意見と自分の意見を比較し、よりよい考えを選択しながら課題解決に取り組もうとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>△△と〇〇なら、〇〇のほうがいい。</li> <li>自分の考えだとイベントに来た人しか楽しめないから〇〇のほうがいい。</li> <li>〇〇の方が笑顔になれそうだから、こっちがいい。</li> <li>アンケートの結果を活かして、自分は〇〇をするのが良いと思う。</li> <li>こちらの方が人を笑顔にできると思う。</li> </ul>

## 7 学習の流れ

学習活動と予想される児童・生徒の反応 主な発問 (○)	指導上の留意事項 (◇)
<p>1 全体の目標について振り返る。</p> <p>2 本時のめあてについて確認する。</p>	<p>◆努力を要する状況と判断した児童・生徒への指導と手立て</p> <p>◇目標について改めて振り返ることで、本時の活動へ生かせるようにする。</p> <p>◇教師主体ではなく、児童主体で学習を進められるよう、総合リーダーから本時の課題を提示する。</p>
<p>目標をよりよく達成できる案はどれであるかを考えよう。</p>	
<p>3 目指す資質・能力について考える。</p> <p>4 案を比較・検討する。 ○考えた案を比べ、より目標を達成できそうな案を考えましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>〇〇と△△なら、〇〇のほうがイベントに来ない人も楽しめそう。</li> <li>これは本当に福富町に住んでいる人を笑顔にできるのかな。</li> </ul>	<p>◇目指す資質・能力を意識できるよう、本時においてどの力が関わるか全体で考える。</p> <p>◇考えた案について、理由を踏まえた上で判断できるよう、付箋に案だけでなく理由も明記させておく。</p> <p>◇アクアフェスタ運営側のアンケートを確認しておくことで、地域の人々の思いも大切にしながら考えることができるようにする。</p>

- ・この二つの案を上手く組み合わせてできないかな。
- ・全く新しいものを始めるよりも、アクアフエスタでやっていたことを生かせるような案がいいのではないかな。

5 全体で共有する。

○どんな案が出たか、グループで考えた案を発表しましょう。

- ・私たちのグループでは、○○と△△がいいという意見が出ました。理由は～～だからです。
- ・アクアフエスタで歌を歌ったので、新PVと合わせて、もっといろいろな人に見たり聴いたりしてもらえないかと考えました。

6 本時の振り返りをする。

- ・私は、○○がいいと思いました。△△と迷ったけれど、◇◇だと思ったから、○○を選びました。
- ・◇◇さんの意見を聞いて、○○という案に△△を合わせたらもっと面白くなると思いました。

◇比較・検討する視点を明確にしておくことで、よりよく目標を達成するための案について考えられるようにする。

◆自ら選択したり思いを述べたりすることが難しい児童には、「1番いいと思ったものは何か。」「なぜそれがいいと思ったのか。」という声を掛けながら、思いを引き出すようにする。また、色のシールを用意しておき、言葉ではない意思表示ができるようにする。



☆他者の意見と自分の意見を比較し、よりよい考えを選択しながら課題解決に取り組もうとしている。  
(主③行動観察, 振り返り)

◇比較した情報を整理するために思考ツールを用い、案の中で上位にあるものを発表させるようにする。

◇案が同じでも思いが違うこともあるため、考えた案だけでなく、理由も合わせて伝えるようにさせる。

◇次時の学習につなげるために、自分の考えや本時の活動について振り返りを行う。

# 小学校5・6年生「夢の実現プロジェクト」

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月以降
<p>&lt;6年生&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマを決める。</li> <li>・5年生に昨年度の課題や今年度のテーマを伝える準備をする。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6年生から5年生へ今年度のテーマや内容を伝える。</li> <li>・アクアフェスタで行いたい内容ごとにグループを決める。</li> </ul> <p>☆アクアフェスタ実行委員からお話を聞く。 ☆保護者にアンケートを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な目標や内容について、グループで考える。</li> <li>・互いの案を見合い、アドバイスや質問を送り合う。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休み中に、各グループでジャムボード等を活用して話し合ったり、準備を進めたりする。</li> </ul> <p>☆アクアフェスタ実行委員、地域の方と話し合いを実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アクアフェスタ本番に向けて、準備を進める。</li> </ul> <p>☆アクアフェスタ実行委員との連携をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アクアフェスタで考えた案を実行する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アクアフェスタの振り返りを行い、成果や課題をまとめる。</li> </ul> <p>☆アクアフェスタ参加者や運営者にアンケートを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果や課題をもとに、さらに福富町の人々が笑顔になるにはどうすればいいか考える。</li> <li>・グループを再編成し、具体的な目標や内容について考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各グループで考えた計画について実行する。</li> <li>・探究発表会において、これまでの活動の成果や課題、これからの活動について発表・実践する。</li> </ul>

## 地域の方にプレゼンしよう！

アクアフェスタで実行したい案について、アクアフェスタ実行委員会会長、副会長、学校運営協議会会長、すいすい倶楽部代表に来ていただき、プレゼンを行った。アドバイスをいただく中で、課題に気付いたり、新たな発想を得たりすることができ、成功させたいという思いへとつながった。



## アクアフェスタ(祭り)に参加しよう！

アクアフェスタにおいて、各グループで考えたことを実行した。スタンプラリーや歌等、祭り自体を盛り上げる企画や、イベントのお手伝いやごみ捨ての呼びかけなど、祭りを支える活動も行った。自分たちの考えたことが町の支えになることや町を盛り上げることに繋がると感じる機会となった。



## <主体性を育む取組> 身近な祭りを一つの題材にする。

単元を中心である「アクアフェスタ」は、児童にとって親しみのある地域の祭りであり、これまで参加側として関わったことがある児童がほとんどである。提案側として参加をする場を設定することで、「できることを考えたい。」という思いをもたせたり、地域に貢献できる達成感を味わわせたりすることができた。

## <協働性を育む取組> アドバイスを伝え合う場を設定する。

グループにおいてアクアフェスタで実行したい案を考えるだけでなく、グループ間でアドバイスを伝え合う場を設定した。「どの案もアクアフェスタで実行できるようにする」という目的をもち、互いにアドバイスや疑問点を伝えることで、より細かい部分について案を改善したり、新たな課題に気づいたりすることができる児童の様子が見られた。